



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-2637-9	版	4.00
発行日	2024/04/14	前発行日	2021/12/13

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

## 化学品及び会社情報

### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>TM</sup> Scotch-Weld<sup>TM</sup> 二液混合型アクリル接着剤 DP8910NS ブラック

### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

42-2612-2, 42-2614-8

## 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

キット：コンポーネント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-2612-2	版	4.00
発行日	2024/04/14	前発行日	2023/10/18

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Scotch-Weld<sup>™</sup> 二液混合型アクリル接着剤 DP8910NS ブラック PartB

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

接着剤, 構造用接着剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

引火性液体：区分3  
急性毒性（経口）：区分4  
急性毒性（経皮）：区分4  
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分1  
皮膚腐食性/刺激性：区分1B  
皮膚感作性：区分1  
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分3  
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分1  
水生環境有害性 短期（急性）：区分2  
水生環境有害性 長期（慢性）：区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語  
危険

シンボル

炎 腐食性 感嘆符 健康有害性

ピクトグラム



危険有害性情報

H226	引火性液体及び蒸気
H302	飲み込むと有害
H312	皮膚に接触すると有害
H314	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H335	呼吸器への刺激のおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 感覚器。
H401	水生生物に毒性
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

安全対策

P210A	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P240B	容器を接地しアースをとること。
P242A	火花を発生させない工具を使用すること。
P243A	静電気放電に対する措置を講ずること。
P233	容器を密閉しておくこと。
P241	防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P271	野外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
P280D	保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P304 + P340	吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい状態を確保すること。
P303 + P361 + P353A	皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。
P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P301 + P330 + P331	飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

#### 保管

P403 + P235	換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
P405	施錠して保管すること。

#### 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

#### その他の有害性

胃腸への腐食のおそれ。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
メタクリレート重合体	営業秘密	5.0 - 35
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	< 25
フィラー	12001-26-2	< 25
メタクリル酸メチル	80-62-6	20
ラウリルメタクリレート	142-90-5	< 15
アクリルコポリマー	営業秘密	<= 15
充填材 2	営業秘密	< 15
アクリロニトリルプタジエンポリマー	9003-18-3	< 15
メタクリル酸	79-41-4	12
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	10
ヘキサデシルメタクリレート	2495-27-4	< 5.0
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	< 5.0
ミリスチルメタクリレート	2549-53-3	< 5.0
カーボンブラック	1333-86-4	0.55
4-メトキシフェノール	150-76-5	0.17
ナフテン酸銅	1338-02-9	0.10

### 4. 応急措置

#### 応急措置

##### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。付着した衣類は脱ぐ。直ちに医療機関を受診する。衣類は再使用する前に洗濯する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

気道を刺激する（咳、くしゃみ、鼻汁、頭痛、嘔声、鼻や喉の痛み）。皮膚の熱傷（局所的な発赤、腫れ、かゆみ、激しい痛み、水疱、組織破壊）。アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

#### 消火剤

火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

情報なし。

#### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

#### 有害な分解物または副生成物

##### 物質

一酸化炭素

二酸化炭素

塩化水素

窒素酸化物

##### 条件

燃焼中

燃焼中

燃焼中

燃焼中

#### 消火作業者の保護

水は消火には効果的ではないが、火炎にさらされた容器を冷却して爆発を防ぐために使用する。火災が激しく、本品の熱分解が起こる可能性がある場合は、ヘルメット、自給式呼吸器、防火服、腕、胴、脚等の保護バンド、頭部保護具を含む完全保護服を着用すること。

## 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合は、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。警告！モータ

一は着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。漏洩箇所を泡消火薬剤で覆う。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。金属製の容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。火花を発生させない工具を使用すること。静電気放電に対する予防措置を講ずること。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。静電気帯電防止靴あるいは適切にアースした靴を着用する。着火の危険を最小限にするために、この製品を使用する作業のために適切な電气的分類を決定し、引火性気体の蓄積を避けるために、特定の局所排気装置を選定してください。輸送中に静電気蓄積の可能性がある場合、容器を接地し、アースを取ること。

### 保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。熱から離して保管する。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
クラス1及び2以外の有機及び無機粉塵、総粉塵	12001-26-2	JSOH OELs	TWA(総粉じんとして)(8時間):8 mg/m <sup>3</sup> ; TWA(吸入性粉じんとして)(8時間):2 mg/m <sup>3</sup>	
不活性あるいは有害なダスト	12001-26-2	ISHL	TLV(計算値)(ダストとして)(8時間):0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
不活性あるいは有害なダスト	12001-26-2	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時	

			間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	
フィルター	12001-26-2	ACGIH	TWA(呼吸可能分画):0.1 mg/m <sup>3</sup>	
カーボンブラック	1333-86-4	ACGIH	TWA(吸入性分画):3mg/m <sup>3</sup>	A3: 動物発がん性物質
カーボンブラック	1333-86-4	JSOH OELs	TWA(総粉じん)(8時間):4mg/m <sup>3</sup> ;TWA(吸入性粉じん)(8時間):1mg/m <sup>3</sup>	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。
不活性あるいは有害なダスト	1333-86-4	ISHL	TLV(計算値)(ダストとして)(8時間):0.025mg/m <sup>3</sup>	100%と仮定して計算
煤	1333-86-4	JSOH OELs	限界値は未設定	1: ヒトに対して発がん性がある。
銅化合物	1338-02-9	ACGIH	TWA(Cuヒュームとして):0.2 mg/m <sup>3</sup> ;TWA(Cuダストないしミストとして):1 mg/m <sup>3</sup>	
4-メトキシフェノール	150-76-5	ACGIH	TWA:5mg/m <sup>3</sup>	
メタクリル酸	79-41-4	ACGIH	TWA:20 ppm	
メタクリル酸	79-41-4	JSOH OELs	TWA(8時間):7 mg/m <sup>3</sup> (2 ppm)	
メタクリル酸メチル	80-62-6	ACGIH	TWA:50ppm、STEL:100ppm	A4: ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質、皮膚感作物質
メタクリル酸メチル	80-62-6	JSOH OELs	TWA(8時間):8.3 mg/m <sup>3</sup>	呼吸器感作性のおそれ。皮膚感作性のおそれ。
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。

ACGIH: American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA: American Industrial Hygiene Association

ISHL: 労働安全衛生法作業環境評価基準

ISHL(濃度基準値): 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準

JSOH OELs: 日本産業衛生学会許容濃度

TWA: 時間加重平均値

STEL: 短時間ばく露限界値

ppm: 百万分率

mg/m<sup>3</sup>: ミリグラム/立方メートル

CEIL: 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。 防爆換気装置を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

スプレーや、ハネの多い作業など、ばく露の可能性が高い場合には、つなぎ服などの保護衣を使用する。ばく露評価に基づき、適切な保護具を着用する。保護衣の材質として次のものを推奨する。ポリマーラミネート製エプロン

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	黒色
臭い	アクリル
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	沸点なし
引火点	>=47.8 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.066 g/ml
比重	1.066 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	74,000 mPa-s



揮発性有機化合物	715 g/l [詳細:EU VOC含有量。]
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	20 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細:パートAと一緒に使用する際]
モル重量	適用しない

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

熱。

火花及び／ないし炎

#### 混触危険物質

アミン類

強酸

強塩基

強酸化性物質

#### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

吸入すると有害のおそれ 気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**皮膚に付着した場合**

皮膚に接触すると有害 皮膚薬傷（化学性腐食）：発赤、腫脹、かゆみ、痛み、水疱形成、潰瘍形成、か皮形成、癬痕形成などの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

**眼に入った場合**

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

**飲み込んだ場合**

飲み込むと有害 胃腸への腐食作用：口、喉、腹部の激しい痛み、吐き気、むかつき、下痢、血便、嘔吐などの症状。

**その他健康影響情報****長時間又は反復暴露した場合：**

嗅覚への影響：嗅覚能力の低下もしくは嗅覚の完全な消失などの症状。

**毒性データ**

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い場合があります。

**急性毒性**

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		データ無し：計算された急性毒性推定値 >1,000 - =2,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >300 - =2,000 mg/kg
メタクリル酸メチル	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
メタクリル酸メチル	吸入－蒸気 (4 時間)	ラット	LC50 29.8 mg/l
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	LD50 7,900 mg/kg
メタクリル酸	皮膚	ウサギ	LD50 > 500 mg/kg
メタクリル酸	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 7.1 mg/l
メタクリル酸	経口摂取	ラット	LD50 1,320 mg/kg
フィラー	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
フィラー	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ヒドロキシエチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
イソボルニルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 3,100 mg/kg
アクリロニトリルプタジエンポリマー	皮膚	ウサギ	LD50 > 15,000 mg/kg
アクリロニトリルプタジエンポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 30,000 mg/kg
ラウリルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ラウリルメタクリレート	皮膚	類似化合物	LD50 > 3,000 mg/kg
充填材 2	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
充填材 2	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
充填材 2	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
N, N, N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	経口摂取	非該当	LD50 500 mg/kg
ミリスチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
ミリスチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ヘキサデシルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
ヘキサデシルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
カーボンブラック	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,000 mg/kg
カーボンブラック	経口摂取	ラット	LD50 > 8,000 mg/kg
ナフテン酸銅	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,000 mg/kg
ナフテン酸銅	経口摂取	類似化合物	LD50 >300, < 2,000 mg/kg
4-メトキシフェノール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
4-メトキシフェノール	経口摂取	ラット	LD50 1,630 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	ウサギ	刺激物
メタクリル酸	ウサギ	腐食性
ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
イソボルニルメタクリレート	ウサギ	軽度の刺激
アクリロニトリルプタジエンポリマー	専門家による判断	刺激性なし
ラウリルメタクリレート	類似化合物	わずかな刺激
充填材 2	ウサギ	刺激性なし
N, N, N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	モルモット	腐食性
ミリスチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
ヘキサデシルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
カーボンブラック	ウサギ	刺激性なし
ナフテン酸銅	ウサギ	刺激性なし
4-メトキシフェノール	ウサギ	軽度の刺激

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	ウサギ	軽度の刺激
メタクリル酸	ウサギ	腐食性
ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
イソボルニルメタクリレート	ウサギ	軽度の刺激
アクリロニトリルプタジエンポリマー	専門家による判断	刺激性なし
ラウリルメタクリレート	類似化合物	刺激性なし
充填材 2	ウサギ	刺激性なし
N, N, N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	類似健康有害性	腐食性
ミリスチルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし

ヘキサデシルメタクリレート	ウサギ	刺激性なし
カーボンブラック	ウサギ	刺激性なし
ナフテン酸銅	In vitro data	刺激性なし
4-メトキシフェノール	ウサギ	激しい刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	ヒト及び動物	感作性あり
メタクリル酸	モルモット	区分に該当しない。
ヒドロキシエチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
イソボルニルメタクリレート	モルモット	区分に該当しない。
ラウリルメタクリレート	モルモット	区分に該当しない。
充填材 2	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ミリスチルメタクリレート	専門家による判断	陽性データはあるが、分類には不十分。
ヘキサデシルメタクリレート	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ナフテン酸銅	モルモット	区分に該当しない。
4-メトキシフェノール	モルモット	感作性あり

## 呼吸器感作性

名称	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	ヒト	区分に該当しない。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	In vivo	変異原性なし
メタクリル酸メチル	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸	In vivo	変異原性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
ヒドロキシエチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
イソボルニルメタクリレート	In vitro	変異原性なし
ラウリルメタクリレート	In vitro	変異原性なし
ラウリルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
充填材 2	In vitro	変異原性なし
ミリスチルメタクリレート	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック	In vitro	変異原性なし
カーボンブラック	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。
4-メトキシフェノール	In vivo	変異原性なし
4-メトキシフェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
メタクリル酸メチル	経口摂取	ラット	発がん性なし
メタクリル酸メチル	吸入した場合	ヒト及び動物	発がん性なし
充填材 2	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
カーボンブラック	皮膚	マウス	発がん性なし
カーボンブラック	経口摂取	マウス	発がん性なし
カーボンブラック	吸入した場合	ラット	発がん性
4-メトキシフェノール	皮膚	多種類の動物種	発がん性なし
4-メトキシフェノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メタクリル酸メチル	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2 世代
メタクリル酸メチル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 450 mg/kg/日	妊娠期間中
メタクリル酸メチル	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 8.3 mg/l	器官発生期
メタクリル酸	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1.076 mg/l	妊娠期間中
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49 日
ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	4 週
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	授乳期早期交配
ラウリルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ラウリルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	6 週
ラウリルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
充填材 2	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
充填材 2	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
充填材 2	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
4-メトキシフェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/日	授乳期早期交配
4-メトキシフェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当し	ラット	NOAEL 300	28 日

		ない。		mg/kg/日	
4-メトキシフェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/日	妊娠期間中

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ラット	NOAEL 非該当	
イソボルニルメタクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
ラウリルメタクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
ミリスチルメタクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
4-メトキシフェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
メタクリル酸メチル	皮膚	末梢神経系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	嗅覚系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 12.3 mg/l	14 週
メタクリル酸メチル	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸メチル	経口摂取	腎臓および膀胱   心臓   皮膚   内分泌系   消化管   造血器系   肝臓   筋肉   神経系   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 90.3 mg/kg/day	2 年
メタクリル酸	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.352 mg/l	90 日
メタクリル酸	吸入した場合	血液   神経系   眼   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,232 mg/l	90 日
フィラー	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	肝臓	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	90 日
イソボルニルメタクリレート	経口摂取	内分泌系   造血器系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/day	90 日

ラウリルメタクリレート	経口摂取	造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	6 週
充填材 2	吸入した場合	呼吸器系   珪肺 症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該 当	職業性被ば く
カーボンブラック	吸入した場合	塵肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該 当	職業性被ば く
4-メトキシフェノール	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	肝臓   免疫シス テム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	心臓   内分泌系   造血器系   神 経系   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日

### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンド ポイント	試験結果
フィラー	12001-26-2	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
イソボルニル メタクリレー ト	7534-94-3	緑藻類	実験	72 時間	EC50	2.3 mg/l
イソボルニル メタクリレー ト	7534-94-3	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.1 mg/l

ト						
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	ゼブラフィッシュ	実験	96 時間	LC50	1.8 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.751 mg/l
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.233 mg/l
アクリロニトリルプタジエンポリマー	9003-18-3	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
充填材 2	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ラウリルメタクリレート	142-90-5	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100
ラウリルメタクリレート	142-90-5	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100
ラウリルメタクリレート	142-90-5	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100
ラウリルメタクリレート	142-90-5	ミジンコ	実験	21 日	水への溶解限界において毒性は見られない	>100
ラウリルメタクリレート	142-90-5	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>10,000
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ヘキサデシルメタクリレート	2495-27-4	液状化	推定値	3 時間	EC10	>10,000 mg/l
ヘキサデシルメタクリレート	2495-27-4	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られな	>100 mg/l



					い	
ヘキサデシル メタクリレート	2495-27-4	ゼブラフィッ シュ	推定値	96 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ヘキサデシル メタクリレート	2495-27-4	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ヘキサデシル メタクリレート	2495-27-4	ミジンコ	推定値	21 日	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ミリスチルメ タクリレート	2549-53-3	液状化	推定値	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
ミリスチルメ タクリレート	2549-53-3	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ミリスチルメ タクリレート	2549-53-3	ゼブラフィッ シュ	推定値	96 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ミリスチルメ タクリレート	2549-53-3	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ミリスチルメ タクリレート	2549-53-3	ミジンコ	推定値	21 日	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
4-メトキシ フェノール	150-76-5	繊毛原生動物	実験	40 時間	IC50	171.4 mg/l
4-メトキシ フェノール	150-76-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	54.7 mg/l
4-メトキシ フェノール	150-76-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	28.5 mg/l
4-メトキシ フェノール	150-76-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.2 mg/l
4-メトキシ フェノール	150-76-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	2.96 mg/l
4-メトキシ フェノール	150-76-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.68 mg/l
カーボンブラ ック	1333-86-4	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
カーボンブラ	1333-86-4	ゼブラフィッ	実験	96 時間	水への溶解限	>100 mg/l

ック		シュ			界において毒性は見られない	
カーボンブラック	1333-86-4	緑藻類	実験	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	100 mg/l
カーボンブラック	1333-86-4	液状化	実験	3 時間	NOEC	>800 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	緑藻類	推定値	72 時間	ErC50	0.629 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ミジンコ	推定値	48 時間	EC50	0.0756 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ゼブラフィッシュ	推定値	96 時間	LC50	0.07 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	ファットヘッドミノウ(魚)	推定値	32 日	EC10	0.0354 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	緑藻類	推定値	該当なし	NOEC	0.132 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	底生蠕虫	推定値	28 日	NOEC	110 mg/kg (乾燥重量)
ナフテン酸銅	1338-02-9	ミジンコ	推定値	7 日	NOEC	0.02 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	液状化	推定値	該当なし	EC50	42 mg/l
ナフテン酸銅	1338-02-9	大麦	推定値	4 日	NOEC	96 mg/kg (乾燥重量)
ナフテン酸銅	1338-02-9	シマミミズ	推定値	56 日	NOEC	60 mg/kg (乾燥重量)
ナフテン酸銅	1338-02-9	土壌微生物	推定値	4 日	NOEC	72 mg/kg (乾燥重量)
ナフテン酸銅	1338-02-9	トビムシ	推定値	28 日	NOEC	167 mg/kg (乾燥重量)
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l

チルメタクリレート						
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)
メタクリル酸	79-41-4	バクテリア	実験	17 時間	EC50	270 mg/l
メタクリル酸	79-41-4	緑藻類	実験	72 時間	EC50	45 mg/l
メタクリル酸	79-41-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>130 mg/l
メタクリル酸	79-41-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	8.2 mg/l
メタクリル酸	79-41-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	53 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>110 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>79 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	69 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	110 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	37 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	液状化	実験	30 分	EC20	150 mg/l
メタクリル酸メチル	80-62-6	土壌微生物	実験	28 日	NOEC	>1,000 mg/kg (乾燥重量)

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メタクリレート重合体	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フィラー	12001-26-2	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
イソボルニルメタクリレート	7534-94-3	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	70 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 310 CO2 Headspace
アクリロニトリルプタジエンポリマー	9003-18-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
充填材 2	営業秘密	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ラウリルメタクリレート	142-90-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	88.5 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
N,N,N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	3.9 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ヘキサデシルメタクリレート	2495-27-4	推定値 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	87 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

ミリスチルメ タクリレート	2549-53-3	推定値 生分 解性	28 日	生物学的酸素 要求量	88.5 %BOD/Th OD	
4-メトキシ フェノール	150-76-5	実験 生分解 性 - 嫌気性	28 日	%	>90 %	
4-メトキシ フェノール	150-76-5	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	86 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
カーボンブラ ック	1333-86-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ナフテン酸銅	1338-02-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ヒドロキシエ チルメタクリ レート	868-77-9	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
ヒドロキシエ チルメタクリ レート	868-77-9	実験 加水分 解		加水分解性半 減期 塩基性 pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた 加水分解
メタクリル酸	79-41-4	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	86 %BOD/ThOD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
メタクリル酸 メチル	80-62-6	実験 生分解 性	14 日	生物学的酸素 要求量	94 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
メタクリレ ート重合体	営業秘密	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
フィルター	12001-26-2	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
イソボルニル メタクリレ ート	7534-94-3	モデル 生態 濃縮		生物濃縮係数	39	Catalogic <sup>™</sup>
イソボルニル メタクリレ ート	7534-94-3	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	5.09	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分 配係数)、高速液体 クロマトグラフィー
アクリロニト リルプタジエ ンポリマー	9003-18-3	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
充填材 2	営業秘密	分類にデー タが利用でき ない、あるい	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		は不足している。				
ラウリルメタクリレート	142-90-5	類似コンパウンド BCF-その他	56 時間	生物濃縮係数	37	OECD305-生体濃縮度試験
ラウリルメタクリレート	142-90-5	類似コンパウンド 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	7.08	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
N, N, N-トリブチルベンゼンメタンアンモニウムクロライド	23616-79-7	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	31.7	
ヘキサデシルメタクリレート	2495-27-4	推定値 BCF-その他	56 時間	生物濃縮係数	37	OECD305-生体濃縮度試験
ミリスチルメタクリレート	2549-53-3	推定値 BCF-その他	56 時間	生物濃縮係数	37	OECD305-生体濃縮度試験
4-メトキシフェノール	150-76-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.58	
カーボンブラック	1333-86-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ナフテン酸銅	1338-02-9	類似コンパウンド BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	≤27	OECD305-生体濃縮度試験
ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.42	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
メタクリル酸	79-41-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.93	
メタクリル酸メチル	80-62-6	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.38	OECD107 log Kow フラスコ振騰法

土壤中の移動性

データはない。

オゾン層への有害性

データはない。

13. 廃棄上の注意

**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意**

国連番号及び品名： 2920 その他の腐食性物質(液体)(引火性のもの)

輸送分類 (IMO) : 8(3) 腐食性物質、引火性液体

輸送分類 (IATA) : 8(3) 腐食性物質、引火性液体

容器等級 : II

**国内規制がある場合の規制情報**

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制 (主な適用法令)**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物 (法第 57 条の 3)

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質 (安衛則第594条の2第1項) ; 皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質 (表示物質)

労働安全衛生法：施行令別表第一 危険物

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

化管法：第 1 種指定化学物質

消防法：第四類第二石油類

船舶安全法、航空法：腐しよく性物質

**主な法規制物質**

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年3月31日迄	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降
4-メトキシフェノール	パラ-メトキシフェノール	適用しない	該当	該当
カーボンブラック	カーボンブラック	該当	該当	該当
ナフテン酸銅	銅及びその化合物	該当	該当	該当
ヒドロキシエチルメタクリレート	2-ヒドロキシエチルメタクリレート	適用しない	該当	該当
メタクリル酸	メタクリル酸	該当	該当	該当
メタクリル酸メチル	メタクリル酸メチル	該当	該当	該当

**化管法**

成分	政令名称	管理番号	区分
メタクリル酸	メタクリル酸	415	第1種指定化学物質
メタクリル酸メチル	メタクリル酸メチル	420	第1種指定化学物質

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション 15：労働安全衛生法の表「2025年4月1日以降2026年3月31日迄」情報の追加.

セクション 15：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」情報の追加.

セクション 3：成分表 情報修正.

セクション 8：OEL登録機関の説明 情報修正.

セクション 10：避けるべき条件 情報修正.

セクション 12：成分生態毒性情報 情報修正.

セクション 12：残留性および分解性の情報 情報修正.

セクション 12：生態濃縮性情報 情報修正.

セクション 15：労働安全衛生法の表 情報修正.

セクション 15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	42-2614-8	版	2.00
発行日	2024/04/14	前発行日	2021/12/13

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> Scotch-Weld<sup>™</sup> 二液混合型アクリル接着剤 DP8910NS ブラック PartA

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

接着剤, 構造用接着剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

皮膚感作性： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

警告

##### シンボル

感嘆符

##### ピクトグラム





## 危険有害性情報

H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

H401 水生生物に毒性  
H412 長期継続的影響により水生生物に有害

## 注意書き

## 安全対策

P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。  
P280E 保護手袋を着用すること。  
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
P273 環境への放出を避けること。

## 応急措置

P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。  
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。  
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。  
P321 特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

## 廃棄

P501 内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	45 - 65
アクリルポリマー	25101-28-4	10 - 30
触媒	営業秘密	1 - 20
有機過酸化物	13122-18-4	0.1 - 10

## 4. 応急措置

## 応急措置

## 吸入した場合

新鮮な空気的环境中に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

## 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を

受診する。

#### 眼に入った場合

ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関

する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

### 保管

日光から遮断すること。熱から離して保管する。酸から離して保管する。強塩基から離して保管する。酸化剤から離して保管する。乾燥した場所に保管すること。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

#### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

### ばく露防止策

#### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

特に必要としない。

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質： ブチルゴム

ネオプレン

ニトリルゴム

#### 呼吸用保護具

特に必要としない。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	灰色
臭い	炭化水素
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	>=65.6 °C
引火点	> 93.3 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.03 g/ml
比重	1.03 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	<=16,000 mPa-s
揮発性有機化合物	60.5 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: EU VOC含有量。]
揮発分	< 6
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	<=2.8 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: パートBと一緒に使用した際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	60.5 g/l [試験方法: SCAQMD rule 443.1 での計算値] [詳細: 支給されたままの状態]
モル重量	適用しない

## ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

## 化学的安定性

安定。

## 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**

熱。  
火花及び／ないし炎

**混触危険物質**

アミン類  
強酸  
強塩基  
強酸化性物質

**危険有害な分解物**

**物質** **条件**  
知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

**11. 有害性情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性学的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

**皮膚に付着した場合**

製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

**眼に入った場合**

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

**飲み込んだ場合**

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。

**毒性データ**

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

**急性毒性**

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000

			mg/kg
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
プロパノールジベンゾエート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
プロパノールジベンゾエート	吸入－粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 200 mg/l
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	ラット	LD50 3,295 mg/kg
アクリルポリマー	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アクリルポリマー	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
触媒	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
触媒	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
有機過酸化物	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
有機過酸化物	吸入－粉塵 /ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.8 mg/l
有機過酸化物	経口摂取	ラット	LD50 12,905 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	ウサギ	刺激性なし
有機過酸化物	ウサギ	刺激性なし

#### 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	ウサギ	刺激性なし
有機過酸化物	ウサギ	刺激性なし

#### 呼吸器感作性または皮膚感作性

##### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	モルモット	区分に該当しない。
触媒	マウス	区分に該当しない。
有機過酸化物	モルモット	感作性あり

##### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するのに十分なデータが無い。

##### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
プロパノールジベンゾエート	In vitro	変異原性なし
触媒	In vitro	変異原性なし

**発がん性**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

**生殖毒性****生殖発生影響**

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 500 mg/kg/日	2世代
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg/日	2世代
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中

**標的臓器****特定標的臓器毒性、単回ばく露**

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
触媒	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg	

**特定標的臓器毒性、反復ばく露**

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
プロパノールジベンゾエート	経口摂取	造血器系   肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,500 mg/kg/day	90日

**誤えん有害性**

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

**12. 環境影響情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

**生態毒性****水生環境有害性 短期（急性）**

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

**水生環境有害性 長期（慢性）**

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	96 時間	LC50	3.7 mg/l
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	緑藻類	実験	72 時間	EL50	4.9 mg/l
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	19.31 mg/l
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	緑藻類	実験	72 時間	EC10	0.89 mg/l
アクリルポリマー	25101-28-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
触媒	営業秘密	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
有機過酸化物	13122-18-4	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.51 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	ニジマス	実験	96 時間	LC50	7.03 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>100 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.125 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.22 mg/l
有機過酸化物	13122-18-4	液状化	実験	3 時間	EC50	327.02 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	85 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
アクリルポリマー	25101-28-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
触媒	営業秘密	実験 生分解性	28 日	二酸化炭素の発生	29.1 CO2発生量/理論CO2発生量%	OECD 301B - 修正シュツルム試験又は二酸化炭素
触媒	営業秘密	推定値 光分解		光分解半減期(空气中)	1.48 日 (t1/2)	
有機過酸化物	13122-18-4	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	72 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
有機過酸化物	13122-18-4	実験 水生固	56 日	生物学的酸素	58 %BOD/ThOD	OECD 302A 修正 SCAS



		有生分解性		要求量		試験
有機過酸化物	13122-18-4	実験 加水分解		加水分解性半減期 (pH7)	51 時間 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解

### 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
プロパノールジベンゾエート	27138-31-4	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	8	Catalogic <sup>™</sup>
アクリルポリマー	25101-28-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
触媒	営業秘密	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	2.57	
有機過酸化物	13122-18-4	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	380	Catalogic <sup>™</sup>
有機過酸化物	13122-18-4	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	5.16	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー

### 土壌中の移動性

データはない。

### オゾン層への有害性

データはない。

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

## 14. 輸送上の注意

### 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；本SDSのGHS分類により適用  
消防法：第四類第三石油類

主な法規制物質

## 16. その他の情報

### 改訂情報

- セクション1：製品用途 情報の追加.
- セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション4：応急措置(眼に入った場合)の情報 情報修正.
- セクション5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション9：融点/凝固点 情報修正.
- セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション9：pH情報 情報修正.
- セクション9：追加性状に関する記載 情報修正.
- セクション9：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション10：避けるべき条件 情報修正.
- セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション11：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション12：成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション12：生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション15：法規名 - 表 情報の削除.
- セクション15：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。